

令和8年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【与野南中学校】

学力向上 アクションマップ

①	今年度の目標と学力向上策
重点的に育成する 資質・能力	(1)「個別最適な学び」と「協働的な学び」を通して、各教科の知識・技能の定着を図るとともに、生徒が自ら課題に取り組み、自身の学びを自走させる力を育む。 (2)「個別最適な学び」と「協働的な学び」を通して、各教科における「見方・考え方」をはたらかせ、知識を生活の中や身近な事象と結びつけながら活用したり、自分の考えを文章やまとめ発表したり、思考を深めながら知識を活用するスキルを身に付けさせる。
↓	
実施する学力向上策 【時期・頻度】	(1)について、教科と単元の特性に応じてTDL(Time to Deepen your Learning:学びを深める時間)型授業を取り入れ、学びの過程や理解したことを把握し振り返る機会を設け、自己評価を積み重ねながらステップアップを実施できるような授業改善を進める。【年間を通して実施】 (2)について、話し合い活動やタブレット端末上での意見共有ツールを活用した協働的な学びの機会を設定し、「学び方を学ぶ」指導を継続的に行うことで、生徒の学びの自走を図る。【年間を通して実施】 (2)について、生徒が多様な思考に触れるため、TDL(Time to Deepen your Learning:学びを深める時間)型授業における生徒同士の協働的な学びの機会を積極的に設定する。【各教科が決めた単元で実施】

⑤	年度末評価	
学力向上策の 実施状況	評価(※)	
↓		
今年度の成果と 次年度の課題		

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)

②	全国学力・学習状況調査結果の分析	
特徴的な結果		
↓		
結果から考えられる 児童生徒の実態		

④	さいたま市学習状況調査結果の分析	
特徴的な結果		
↓		
結果から考えられる 児童生徒の実態		

③	中間評価	
学力向上策の 実施状況	評価(※)	
↓		
学力向上策の 見直し		

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)